



案でない

国保の台所

も少しほしい保険税

私どもの町では、国民健康保険を全町に実施して、間もなく二ヶ年になる。その間保険給付の改善や保健婦の全地区配置など、サービスの向上につとめたので町民の医療は大へん役立っているが、その台所はなかく楽ではない。

1、一ヶ年の保険税は

皆さんから納めていただく今年の保険税は、一千七百五十万円で、一世帯平均二千円です。

2、皆さんが病気で医者にかかったとき、町ではどれ程お医者さんに支払うか(医療給付)

町では医療費の半額を負担することになっており、今年一ヶ年間に一千五百七十六万円を支払う見込みです(二二年度決算見込)

3、助産給付金は

赤ちゃんが生れた場合にはお産のための経費を少しでも軽くするために、赤ちゃん一人につき五百円を差上げています。この経費は年間三十五万五千円となります。

4、哺育費は

生れた赤ちゃんを丈夫に育てていただくため、一ヶ月百円あて六ヶ月間、合計六百円を差上げていますが、この経費は年間四十二万六千円と間十五万五千円となります。

5、葬祭給付金は

被保険者が死亡したときは香料の意味で一件につき五百円を贈ります。この経費が年間十五万五千円となります。

五百九十五万円が不足

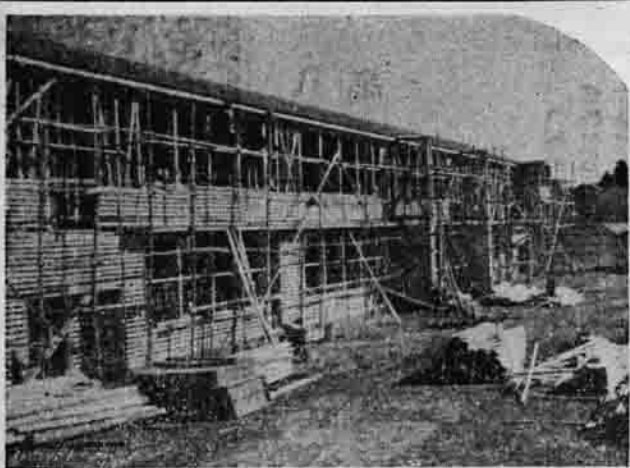
以上2、5までは、被保険者の福祉のために、直接皆さんに支払われるもので、この合計金額は一千六百七十万円余りとなります。

○町の一般会計からの繰入れはおもしろくない

税金が一千七百五十万円ですが、差引き五百九十五万円を税収以上に皆さんにお返ししているわけです。

○国や町より補助

この税収以外の支払い分は



建築中の小幡統合小学校

小幡統合小学校は去る11月常洋建設の請負で着工したが、3月中に完工を目標に工事を急いでいる。建築中の校舎は計画の約半分345坪10教室の外、保健室、宿直室、使丁室、便所等で、33年度は引つづき303・5坪の校舎と附ぞく建物が建築される。

モデル公民館完結発表会

瓦会公民館で行う

八郷町公民館は三十一一年八月、県のモデル公民館の指定を受け、新農村建設と公民館活動というテーマで研究活動をつづけていたが、この三月完結するので、去る一月二十日、瓦会公民館で、県下の公民館関係者約五百名があつまつて、盛大な完結発表会をおこなった。

午前中田島婦人会長が司会する婦人学級と、島田農研会長の司会する農事研究会の実演があり、新作カラー・スライドを用いて、八郷町公民館活動の紹介をおこなった。午後は園部公民館大庭さんの農協との関連における公民館

なぜ延滞金をとらないか

町当局が健全財政を確立するために、町費のむだ使いをつつしめながら、納税の成績をよくすることに、大へん力をこめておられることは承知してありますが、今までは町費のやうな徴税は少し手ぬるいではないでしょうか。

私の知っている人、いくらすすめても納税組合に納税しない人がいます。納税の納期など問題にしていない人がいます。

延滞金の徴収については平均二、〇〇〇円です。助産費、哺育費、葬祭費の増額入れの納付などの問題もありませんが、現在の国保財政では実現できません。

○よい給付を行うには

これで私どもの町の国保はまだ税収が足りないことがわかりました。それと、茨城県の平均が一世帯平均二八〇〇円なのに、八郷町

○国保二重加入の希望者が多い

社会保険に加入している者の家族が、町の国保にも二重に加入しています。それについて先日世論調査を行ったところ、約七〇％は現在の通り二重加入を希望していることがわかりました。これは保険税は多くても、給付が保証されれば、生活の安定ができるからで、多くの人はよい保険とするためには保険税は少し位上げてよいと考

四月からキチンと納めます

延滞金の徴収については平均二、〇〇〇円です。助産費、哺育費、葬祭費の増額入れの納付などの問題もありませんが、現在の国保財政では実現できません。

○保険税の納税成績

グラフにあらわされたように上々の成績とは申せません。保険税収成績が九〇％以上になると、国から特別の助成が受けられる特典もあるのですが、三月中にはどうしても九〇％をこえる成績をあげたいものです。(保険課)

いのしし33頭捕獲

町では去る十二月一日からいのししをとった者に、一頭二千円の奨励金をだして大いに奨励しているが、去る二月十五日までに33頭をとった。地区別の成果は、つぎのとおり。

芦穂地区13頭、小幡地区7頭、志瀬地区7頭、小幡地区6頭

南米移住の

雨貝久君健在



雨貝君が遠大な希望をいだいて、ブラジルに移住した。昨年五月、渡航したのは昨年の五月で、もう十ヶ月になります。先日雨貝君より町長さんへ元気な

八郷青年四位に入賞

才十一回県民体育大会駅伝競走青年の部は、二月十六日水戸一日立間のコースで行われたが、これに出場した八郷青年チームは、県北の強豪と堂々と戦い、四位に入賞した。出場メンバーは、以下のとおり。

- 監督 永井 孝夫(園部)
- マネージャー 土田 武夫(園部)
- 才一区 土師 守(園部)
- 才二区 大槻 安(園部)
- 才三区 飯村 訓一(林)
- 才四区 市村清一郎(瓦会)
- 才五区 君山 好道(小幡)
- 才六区 塚田 弘徳(芦穂)
- 才七区 土師 友正(園部)
- 才八区 久保田敏明(園部)

新生活 研究会

林公民館で

林公民館では、二月五日、茨城県教育庁の板垣先生をまねいて、新生活学会の研究會をおこなった。

この日、矢口公民館長、小林婦人会長を中心に、婦人会員、青年会員など約二百名が参加して、話しあいの実演を

「常陸丸山古墳」をおわけします

高友の丸山古墳発掘後、明治大学考古学教室に依頼して、その報告書を作製中のあるところ、この程ようやく完成した。

古墳は種々文獻確認の上発掘したものであつて、才十代崇神天皇の才一皇子、豊城入彦命の御墓であることが、考古学的に裏付けられたので、八郷地方に取つてこの上も無い喜びであり誇であると思ふ。

その出土品も、県の重要文化財に指定されているが、今後国宝として国の指定も実現させたい、また博物館も建設する予定です。本書は上等紙質百三十頁、勾玉・管玉・小玉等の

春は大火の多いとき

三月から四月の春さきにかけては一年中で一番大火災の多い季節です。本県の記録でも那珂湊の大火は四月二十九日、繁華街の大部分を焼いています。最近では下館の大火で、下町の大部分を焼いたのが四月二十一日、また昨年の三月二十二日には十メートル位の西風にあふられて、石塚の中心部がやけてしまいました。いずれも春さきに大きな火事が発生しております。こうした大火の原因には次の二つが考えられます。

才一の原因は、気候の変わり目で、異常乾燥の状態がつづき、西風が強く吹き、又風向きが急に変わるため火事になりやすい条件がつづく。

才二の原因は、あたたくなつて火に接する機会が少なくなつて、火に対する注意もゆるみ、防火心にかけらぬと思われまふ。

原色、その他三十葉の写真版があつても、町費補助十七万円があつたので、半額の千円で(非売品であるが)資金獲得のため、頒布する次第です。

町民としては、吾々の祖先の姿、現在迄の由来を知つて居なければ恥であると思ふので、一戸一冊位座右に置くことを願ひします。

本会は、更に発展を期して居り、この際むしろ文化財保存会として発足、八郷町全地域を包含したものに致したら如何かと考えています。

有志の方々の協力を乞う次第である。

丸山古墳顕彰会